

日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



2023年9月期 通期 決算説明資料

株式会社ツナググループ・ホールディングス
(証券コード:6551)

できることは、まだある。

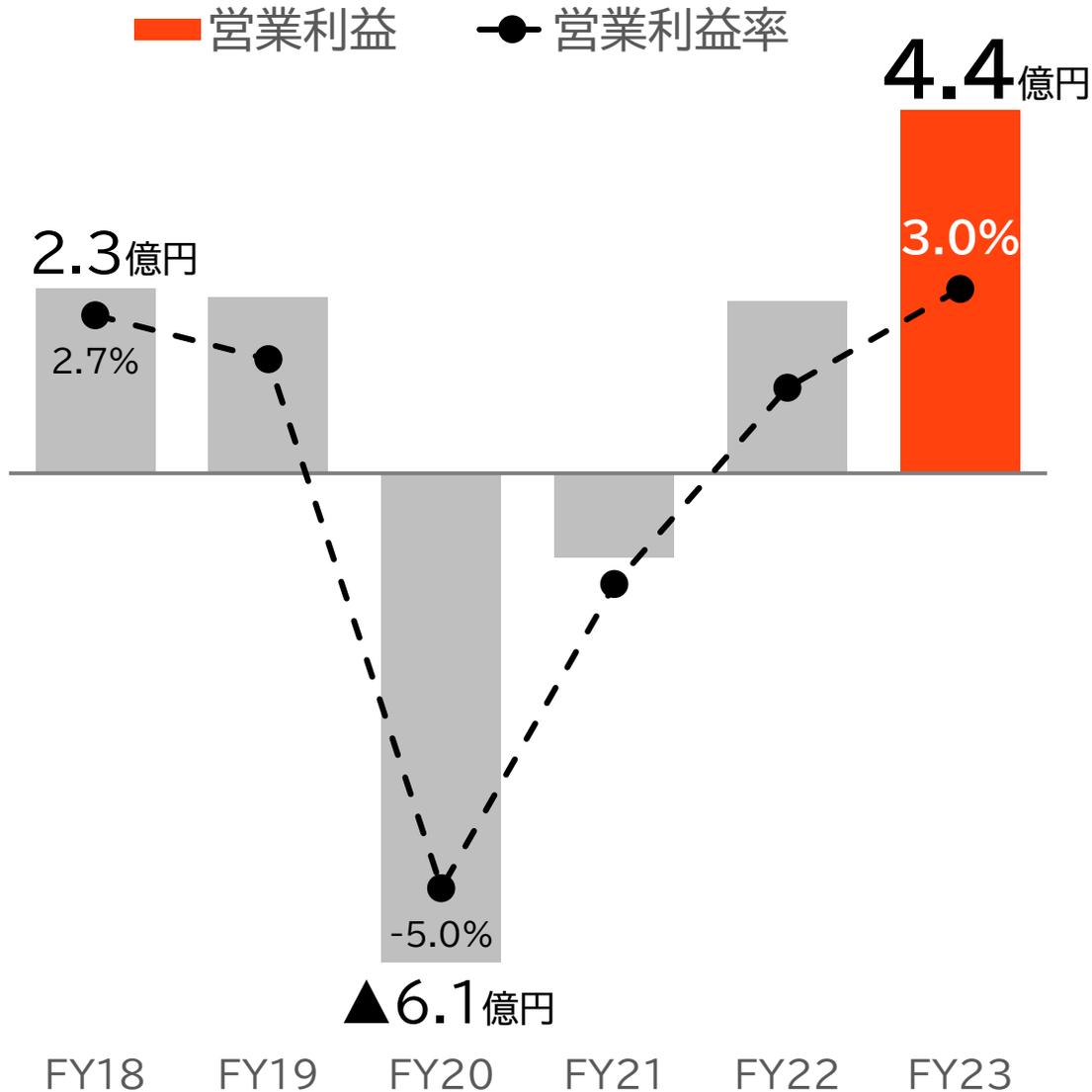


通期業績ハイライト

	2023年9月期 実績	前年比	
		増減額	%
売上高	150億円	+23億円	+18%
売上総利益	67億円	+6億円	+10%
営業利益	4.4億円	+2.4億円	+106%
営業利益率	3.0%	+1.3%	—
経常利益	4.5億円	+2.4億円	+110%
経常利益率	3.0%	+1.3%	—

3つの過去最高をマーク

- 売上高
- 営業利益
- 経常利益



コロナ影響を越え

- V字回復を実現
- 営業利益2.1倍
- 収益性高い構造へ

通期業績ハイライト KPI

EVAスプレッド*1

2.9%

(前期比: +5.1%)

ROIC*2

11.3%

(前期比: +6.2%)

自己資本比率

33.1%

(前期比: +5.5%)

売上高

150億円

(前期比: +18.1%)

社数*3

7,912社

(前期比: -4.1%)

社単

1,899千円

(前期比: +23.1%)

- **KPI前年プラス**
*社数を除く
- **財務健全性向上**

*1: WACCの計算には月次5か年のβ値と10年国債をリスクフリーレートとして採用し計算

*2: 実効税率は30.62%として計算

*3: 販売管理システムを統合し、外部ツールを用いて法人を整理した結果、社数の計算方法が変更となった。

01

事業概要

02

2023年9月期 通期業績

03

2024年9月期 業績予想

04

APPENDIX

できることは、まだある。



About “Tsunagu”

私たちについて

Our Mission

つなぐ、つなげる、つながる。

Our Vision

採用市場のインフラになる。

日本の社会課題である

「2030年労働需給GAP解消」

を目指す、ソリューションカンパニー。

会社情報

経営陣

関連子会社

設立 **2007年2月**

従業員数^{*1} **690名**

資本金 **7.0億円**

代表取締役社長	米田 光宏
取締役副社長	上林 時久
取締役	多田 斎
取締役	六川 浩明
取締役	中江 康人
常勤監査役	宮原 正雄
監査役	小山 貴子
監査役	北村 恵美

販売会社

株式会社ツナググループHC
代表取締役社長 御子柴 淳也



株式会社ツナグ・ソリューションズ
代表取締役社長 大久保 雅宏



株式会社ツナグ・マッチングサクセス
代表取締役 上林 時久



戦略子会社

株式会社チャンスクリエイター
代表取締役社長 近藤 賢司



株式会社LeafNxT
代表取締役社長 石橋 弘二



ロジHR株式会社
代表取締役社長 玉井 生

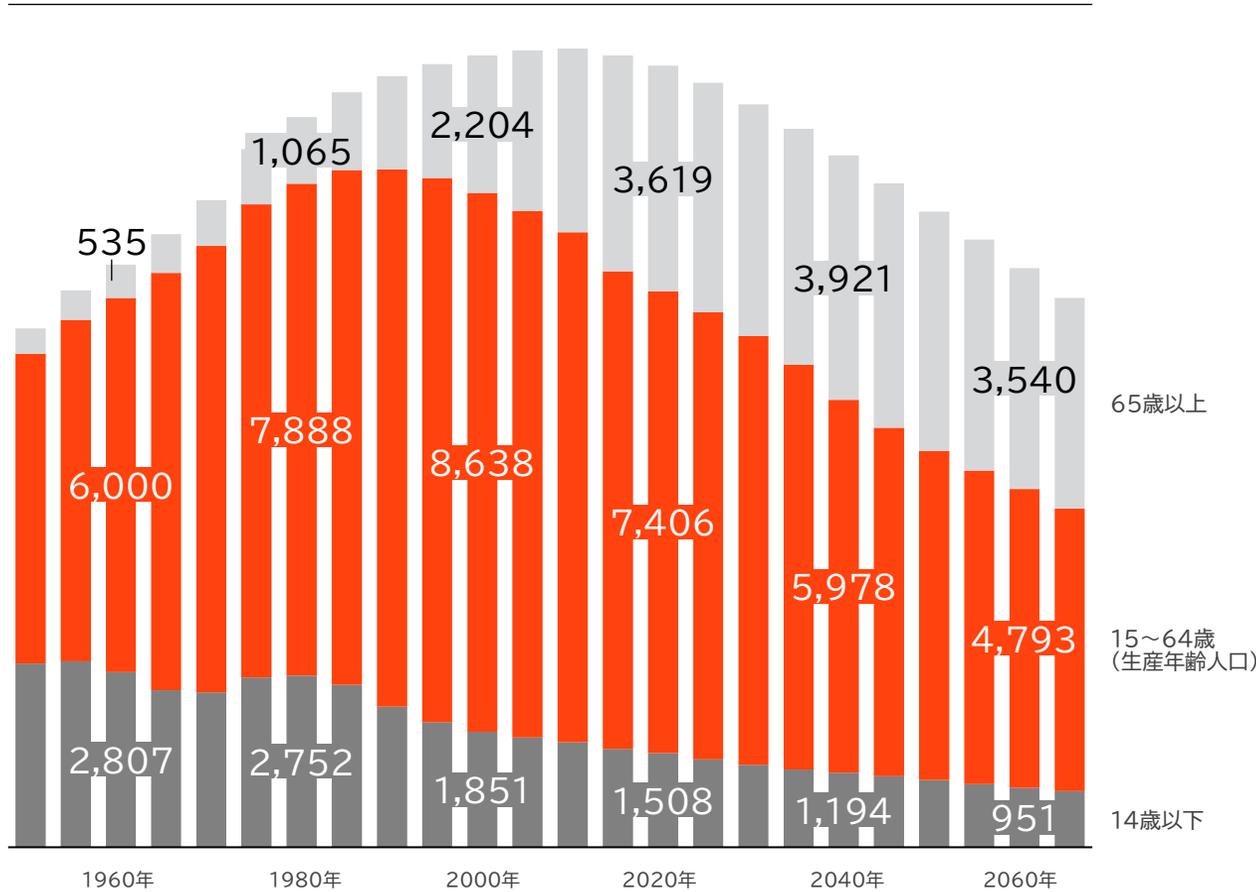


生産年齢人口推移と有効求人倍率

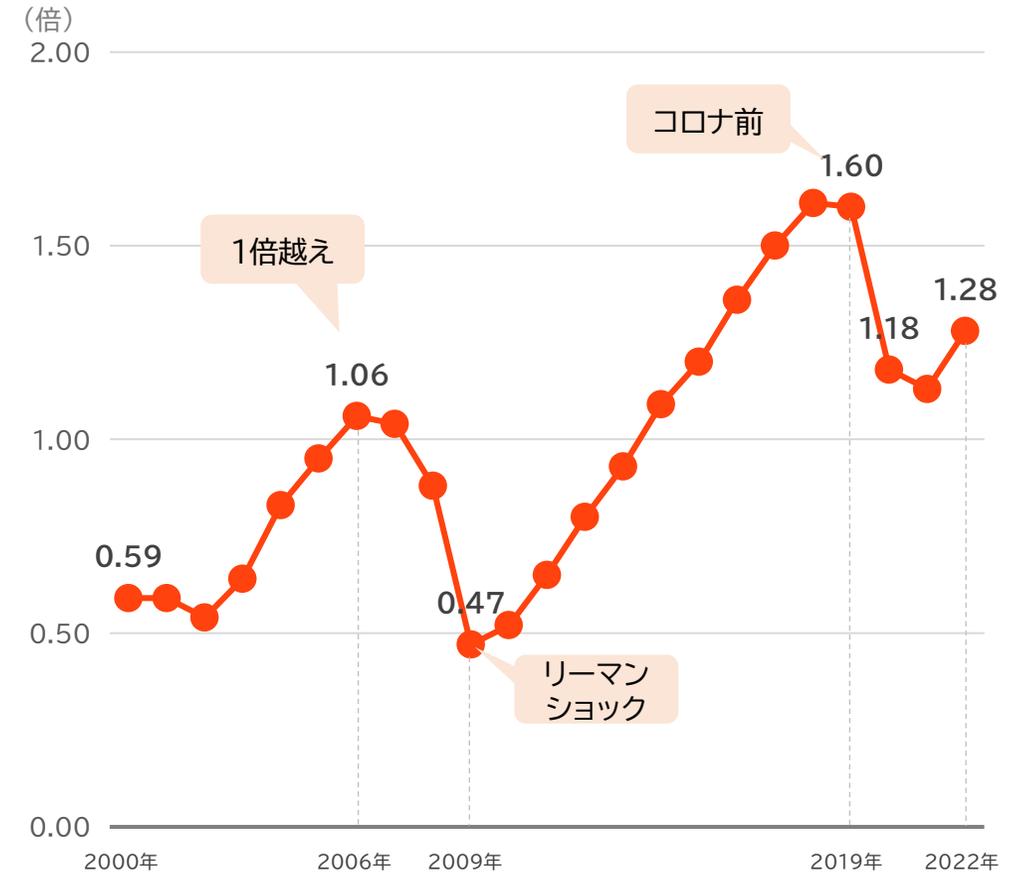
日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



生産年齢人口推移 ^{*1}



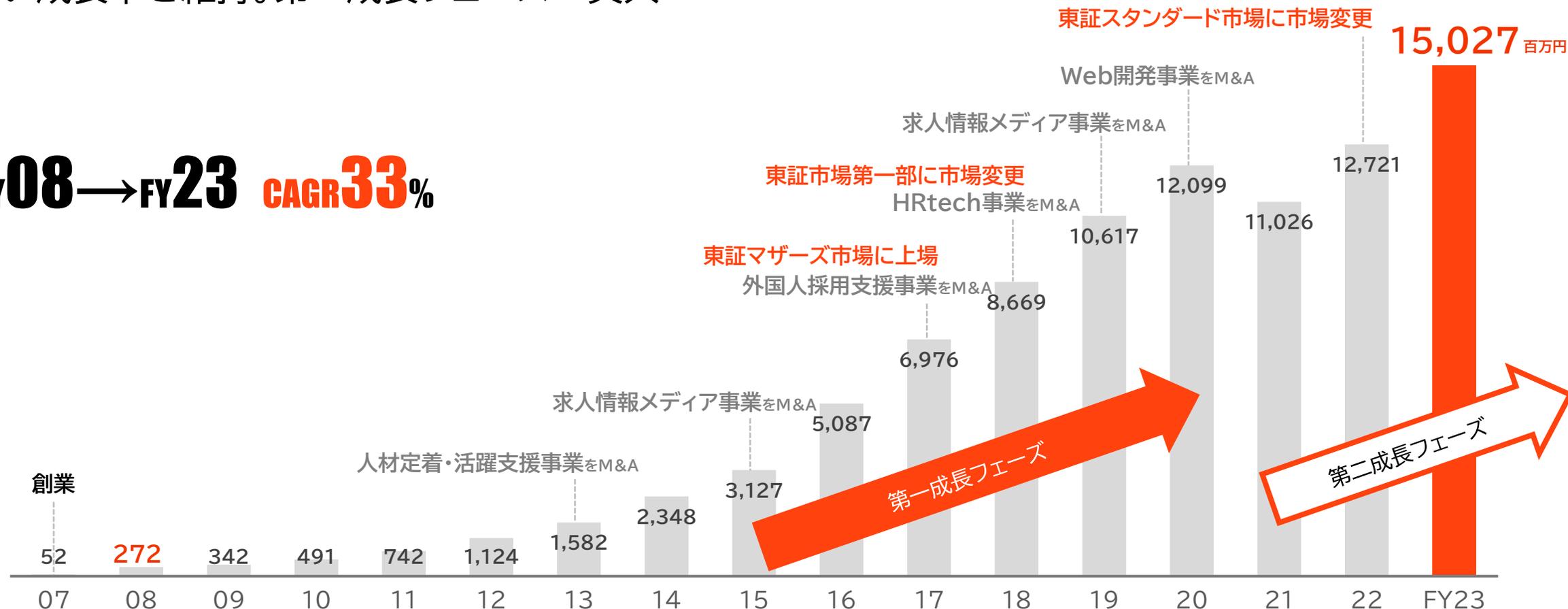
有効求人倍率推移 ^{*2}



*1 (出所)資料:総務省統計局「国勢調査」(年齢不詳の人口を按分して含めた。)及び「人口推計」、
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)
 *2 厚生労働省

事業を水平・垂直両面で拡大・統合させながら
高い成長率を維持。第二成長フェーズへ突入

FY08 → **FY23** **CAGR33%**



小売

イオンリテール株式会社
ウエルシア薬局株式会社
株式会社MCCマネジメント
株式会社クスリのアオキ
ゴディバジャパン株式会社
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社大創産業
株式会社ニトリホールディングス
株式会社ファミリーマート
ミニストップ株式会社

飲食店

株式会社王将フードサービス
株式会社サンマルクホールディングス
スターバックスコーヒージャパン株式会社
株式会社ゼンショーベストクルー
株式会社トリドールホールディングス
株式会社ドミノ・ピザジャパン
株式会社FOOD&LIFECOMPANIES
株式会社フォーシーズ
株式会社プレナス

物流

関東シモハナ物流株式会社
佐川急便株式会社
シモハナ物流株式会社
株式会社ナカノ商会
福山通運株式会社
ヤマト運輸株式会社
株式会社流通サービス
アサヒロジ株式会社
株式会社バンダイロジパル

医療・介護

エルケア株式会社
株式会社木下の介護
社会福祉法人伸こう福祉会
スターツケアサービス株式会社
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
株式会社ニチイホールディングス
株式会社日健マネジメント
日本アメニティライフ協会
パナソニックエイジフリー株式会社

アパレル

株式会社AOKIホールディングス
アディダスジャパン株式会社
株式会社ジーユー
タペストリー・ジャパン合同会社
(coach)
株式会社メガネトップ
株式会社ユニクロ
ラルフローレン合同会社

観光

合同会社ユー・エス・ジェイ
ハウステンボス株式会社
ソラーレホテルズアンドリゾーツ株式会社
タイムズサービス株式会社
羽田タートルサービス株式会社
株式会社阪急阪神ホテルズ
株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメン
ト

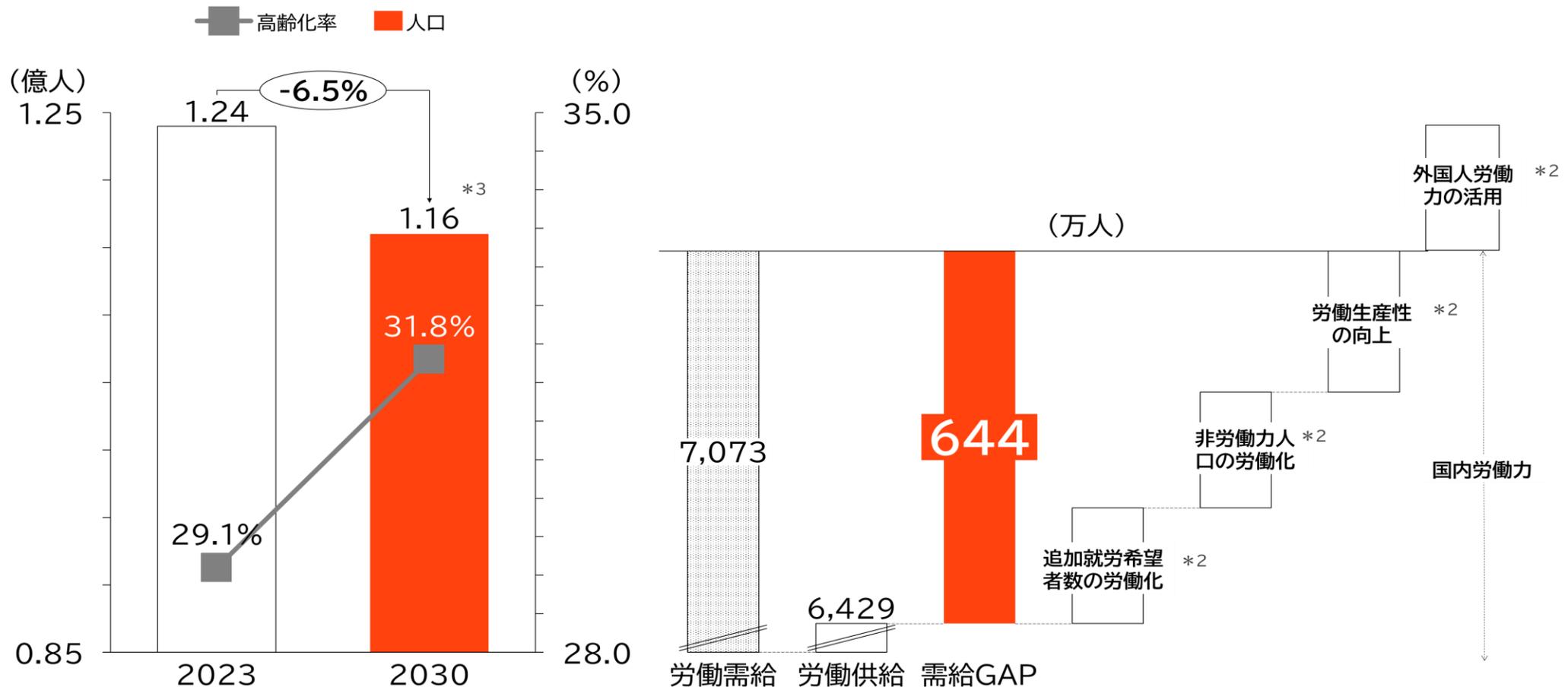
倉庫・棚卸・製造

ダイキン工業株式会社
トヨタ・コニック・プロ株式会社
リコージャパン株式会社
本田技研工業株式会社
アセットインベントリー株式会社
株式会社エイジス

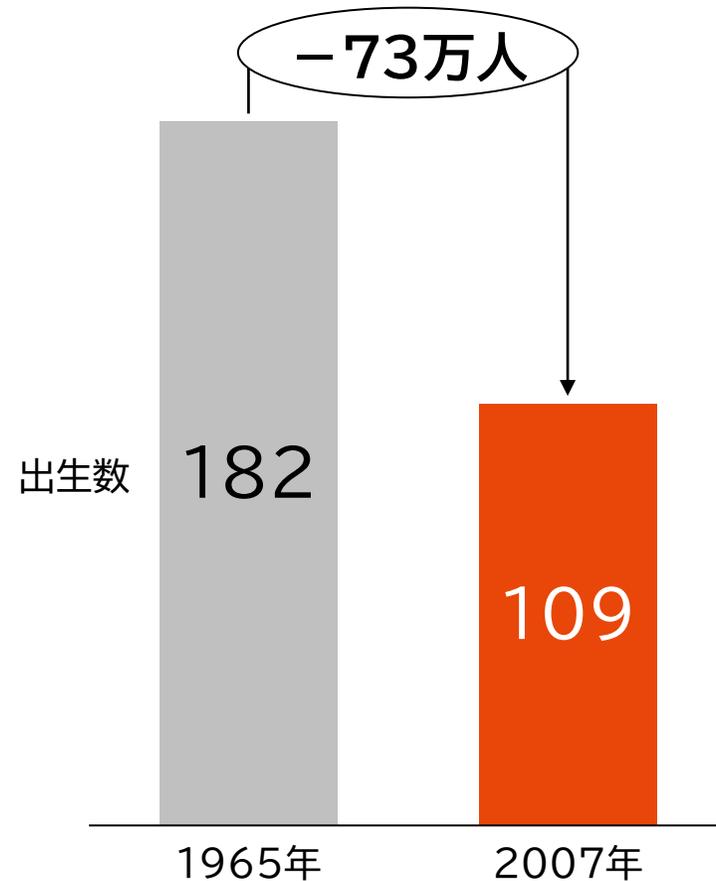
人材

エン・ジャパン株式会社
キャリアリンク株式会社
株式会社クイック
ディップ株式会社
日総工産株式会社
パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
株式会社マイナビ
株式会社リクルート
株式会社リブセンス
ワタミエージェント株式会社

2030年644万人の労働需給GAPの解消をツナググループは目指します。



*1 (出所) パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計2030」
 *2 (注釈) GAPを埋める代表的な施策の一例であり、他にも施策は存在する
 *3 (出所) 厚生労働省データより



2030年に定年(65歳)を迎える人口

182万人

2030年に新社会人(23歳)となる人口

109万人

その差は **73万人**

でききること、はまだある。

人材の確保が難しい時代にあっても、その状況を鮮やかに一変させるカードはきっとある。

私たちは業界のインフラとなってさまざまなサービスを展開し、採用シーンのあらゆる課題を解決に導きます。

これからの求人は、シフトを大きく埋めていくパネル型から多様性をもってスキマを埋めるモザイク型へ。

その時々、それぞれの場面で最善の一手を考え続け、先進的かつユニークな人材調達・活躍支援サービスの力でつながった先の景色まで支えていきます。



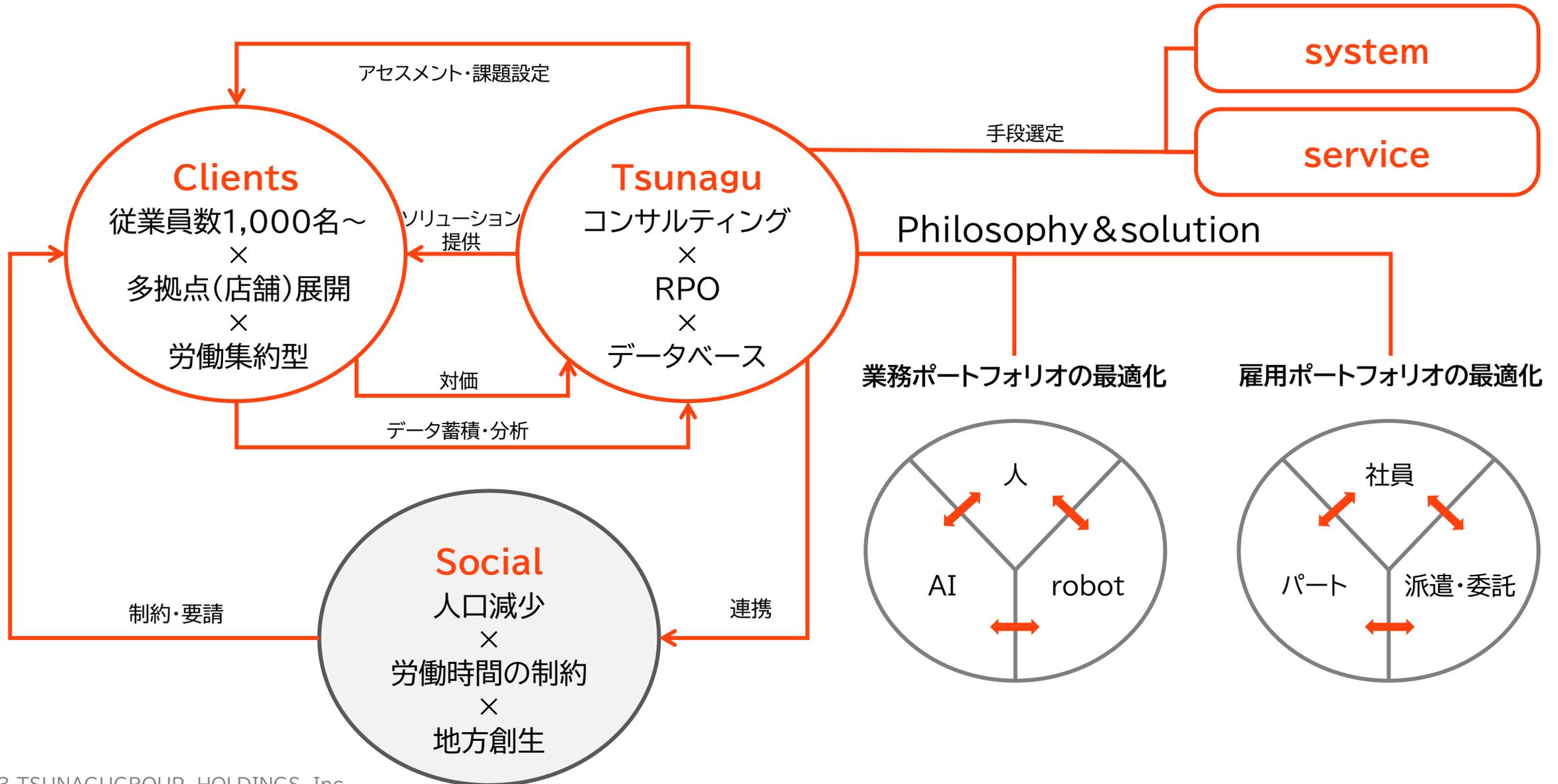


各業界トップクラス企業を中心に支援。
蓄積した膨大なデータとノウハウ活用を
「AIを含むテクノロジー」でさらに加速。

支援拠点数		15.0 万店舗・事業所
広告流通額 ^{*1}		62.0 億円
支援先採用数		12.0 万件
データ蓄積数 ^{*2}		60.0 万件

事業概要(ビジネスモデル概要)

日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



01

事業概要

02

2023年9月期 通期業績

03

2024年9月期 業績予想

04

APPENDIX

できることは、まだある。



業績予想上回り着地。売上高(前年)+18% 営業利益(前年) +110%と大きく伸長。

単位 百万円	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	前年比		2023年9月期 業績予想	業績予想比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	12,721	15,027	+2,305	+18.1%	14,700	+327	+2.2%
売上総利益	6,023	6,651	+627	+10.4%	—	—	—
営業利益	215	443	+227	+105.7%	400	+43	+10.8%
営業利益率	1.7%	3.0%	+1.3%	—	2.7%	+0.3%	—
経常利益	213	447	+234	+110.0%	400	+47	+11.8%
経常利益率	1.7%	3.0%	+1.3%	—	2.7%	+0.3%	—

セグメント別業績

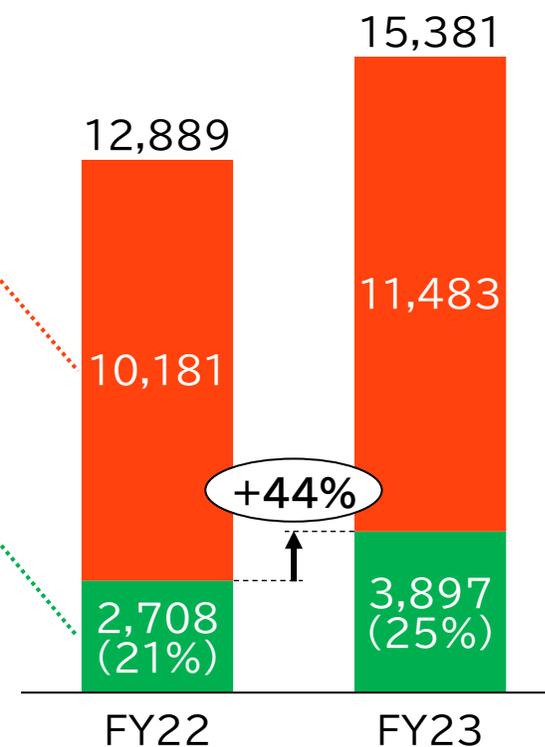
両セグメント二桁成長を実現。スタッフィング事業の派遣・紹介領域が成長を牽引。

ヒューマンキャピタル事業				
対象領域：RPO（採用代行・採用コンサルティング）、DXリクルーティング、セグメントメディア、その他				
単位 百万円	FY22通期 実績	FY23通期 実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	10,181	11,483	+1,302	+12.8%
セグメント 利益	225	491	+266	+118.1%

スタッフィング事業				
対象領域：派遣・紹介、コンビニ（派遣スタッフの研修店舗を兼ねた店舗運営）				
単位 百万円	FY22通期 実績	FY23通期 実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	2,708	3,897	+1,189	+43.9%
セグメント 利益	-27	-18	+9	-

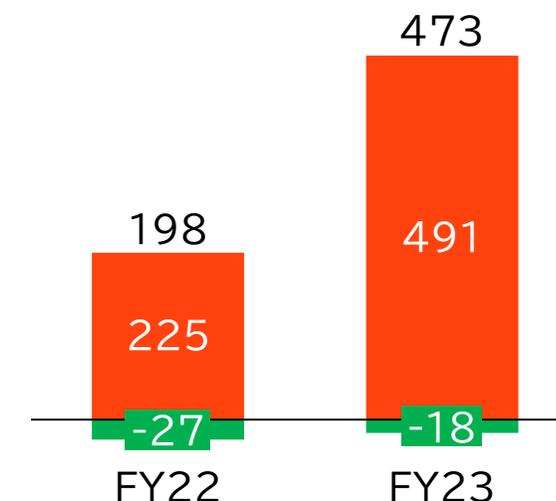
セグメント別売上高

単位（百万円）



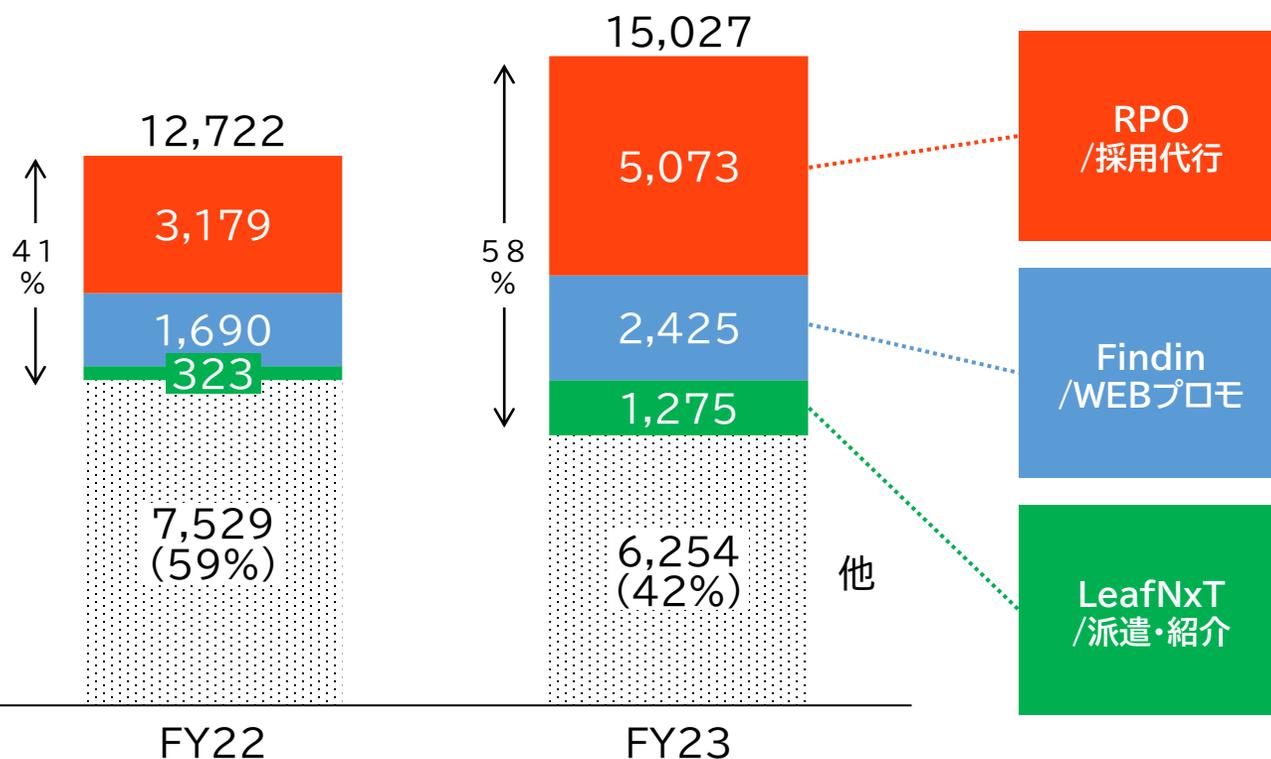
セグメント利益

単位（百万円）

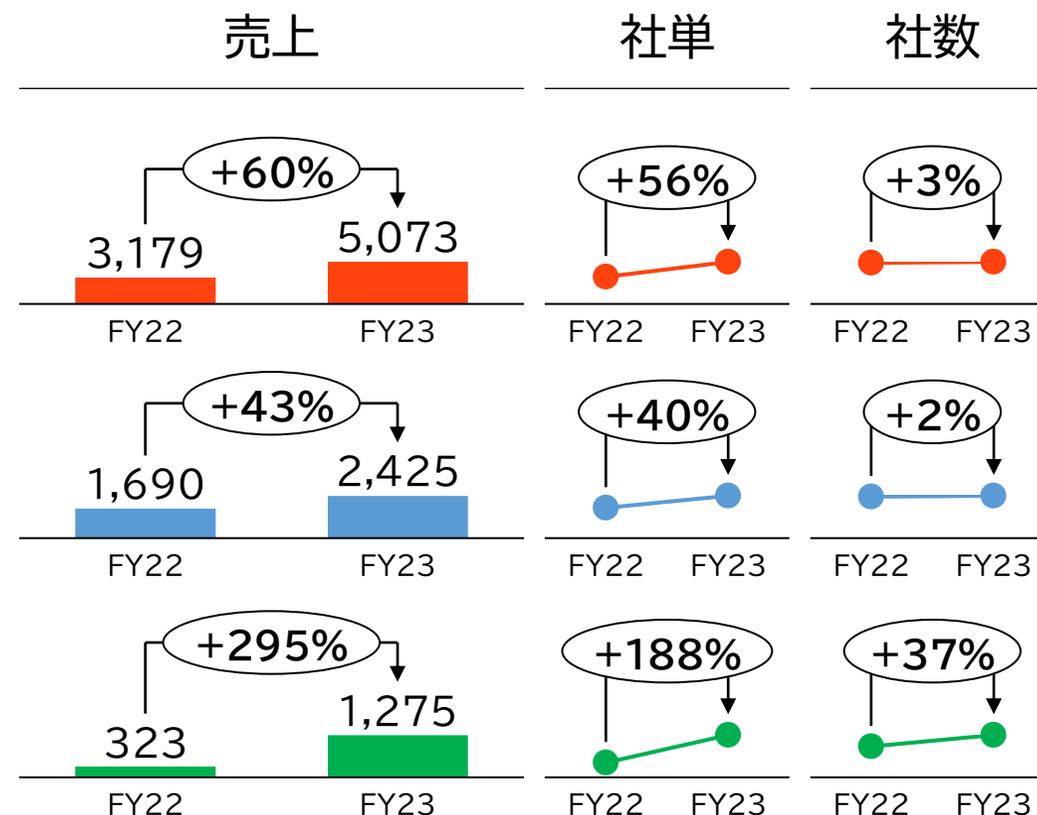


主要事業のRPO・Findinが大きく伸長。新規事業のLeafNxTも成長を加速。

主要事業売上推移 単位(百万円)

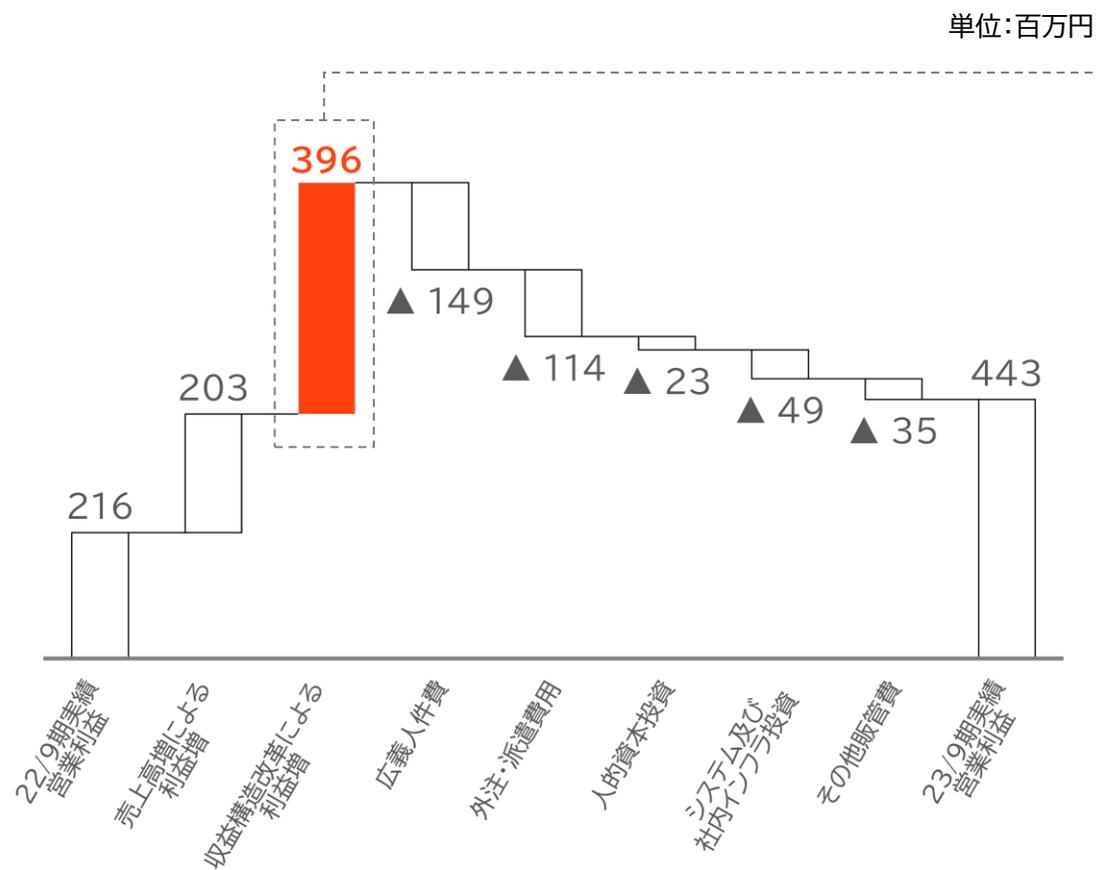


主要事業売上推移 単位(百万円)

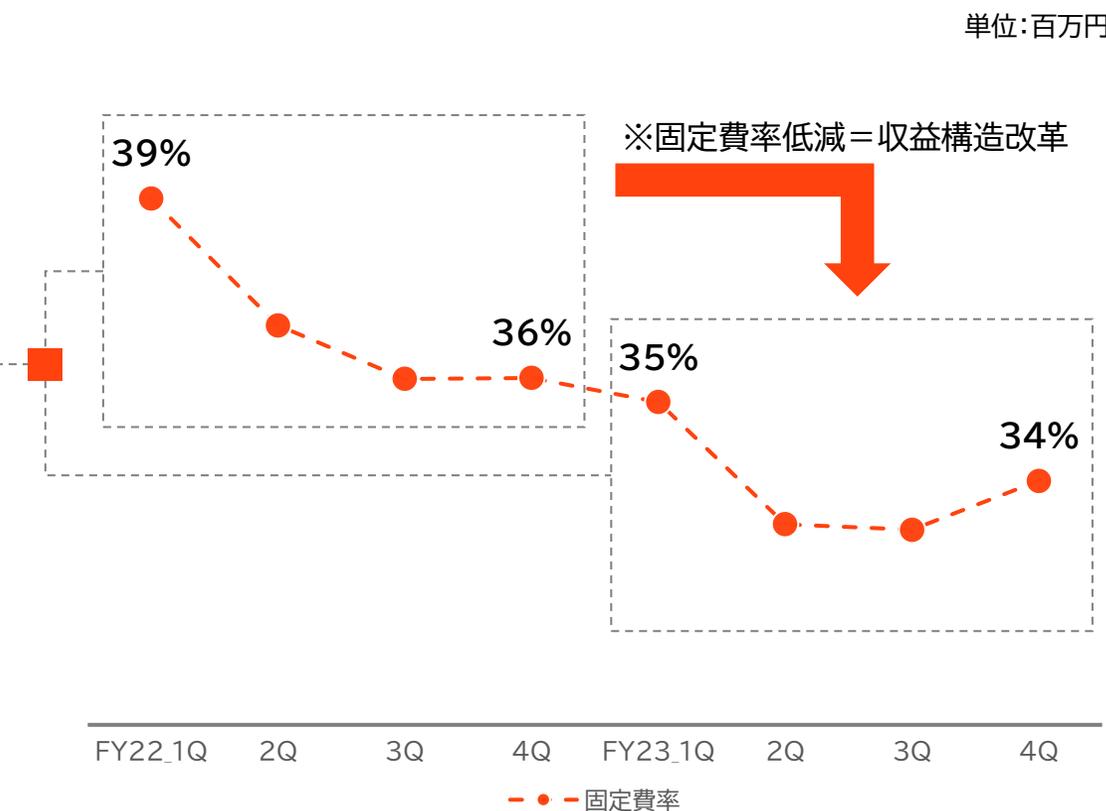


固定費率を低減させ、収益構造改革を年間通じて実行・実現。収益性を大幅改善。

通期営業利益の増減 22/9→23/9



* 固定費率の四半期推移 22/9→23/9



生産性(社員一人あたり営業利益・売上高)

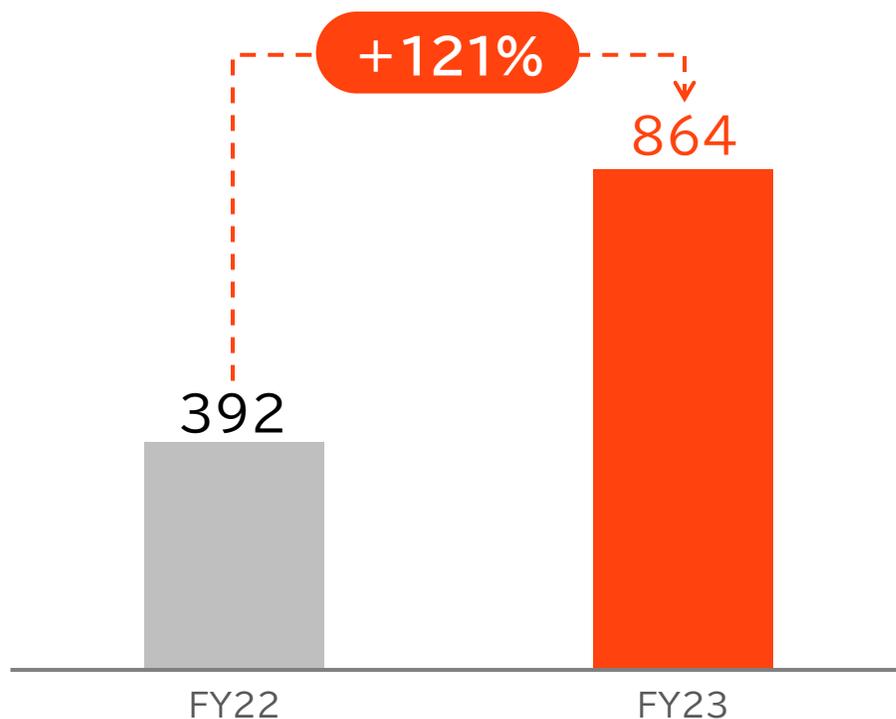
日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



収益構造改革の結果として生産性が大幅に改善。

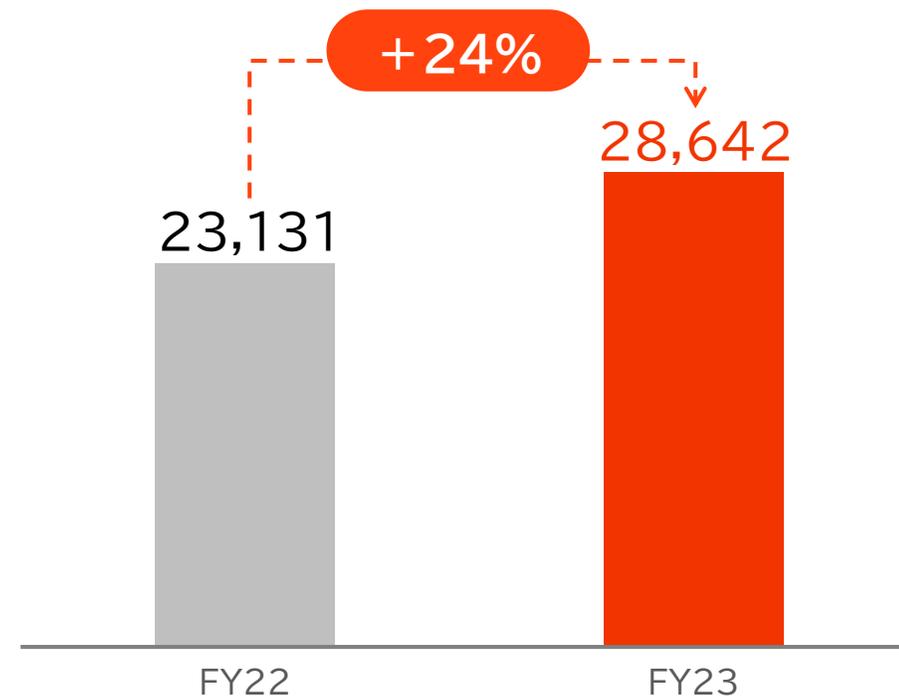
社員一人あたり営業利益*

単位:千円



社員一人あたり売上高*

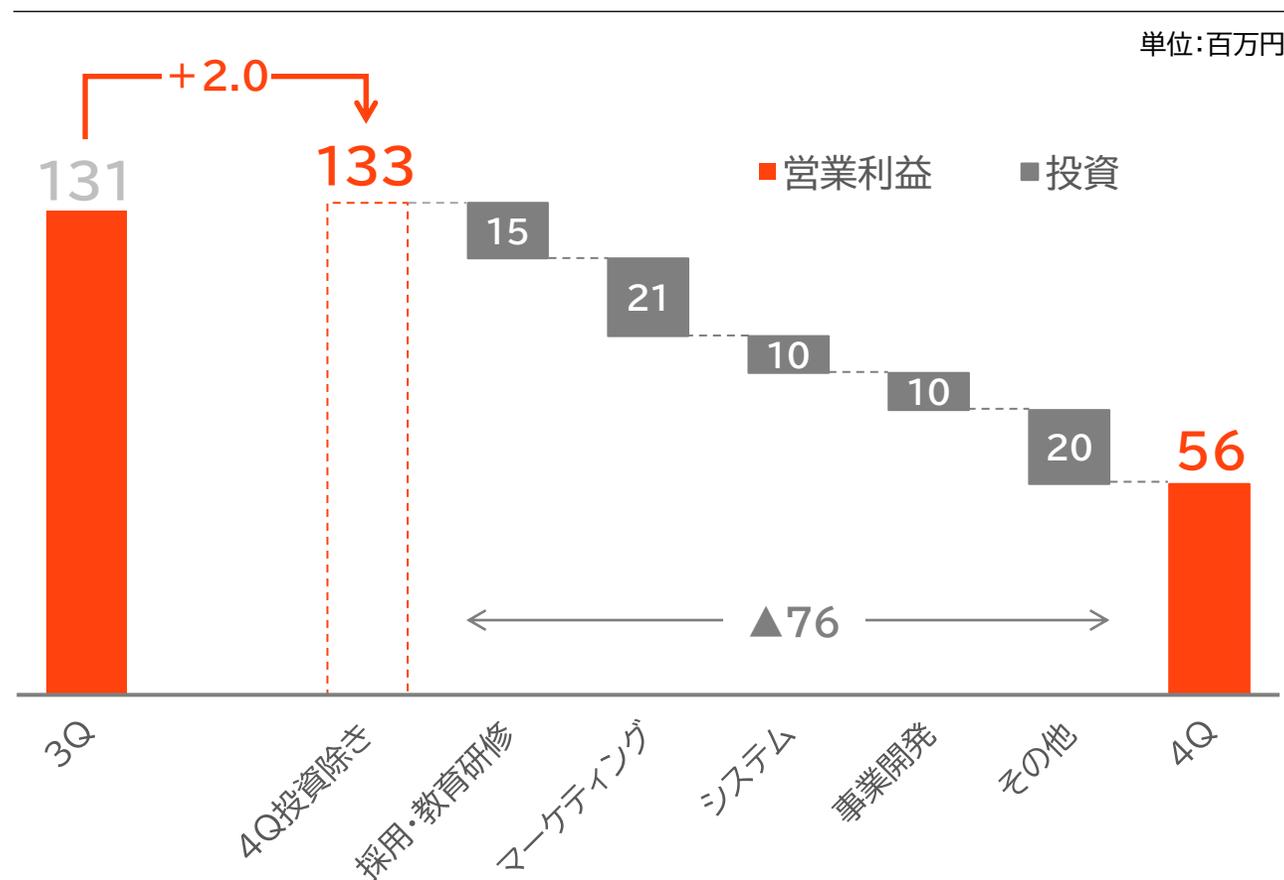
単位:千円



収益性を維持し、FY24以降に向けた成長追加投資7,600万円を実施。

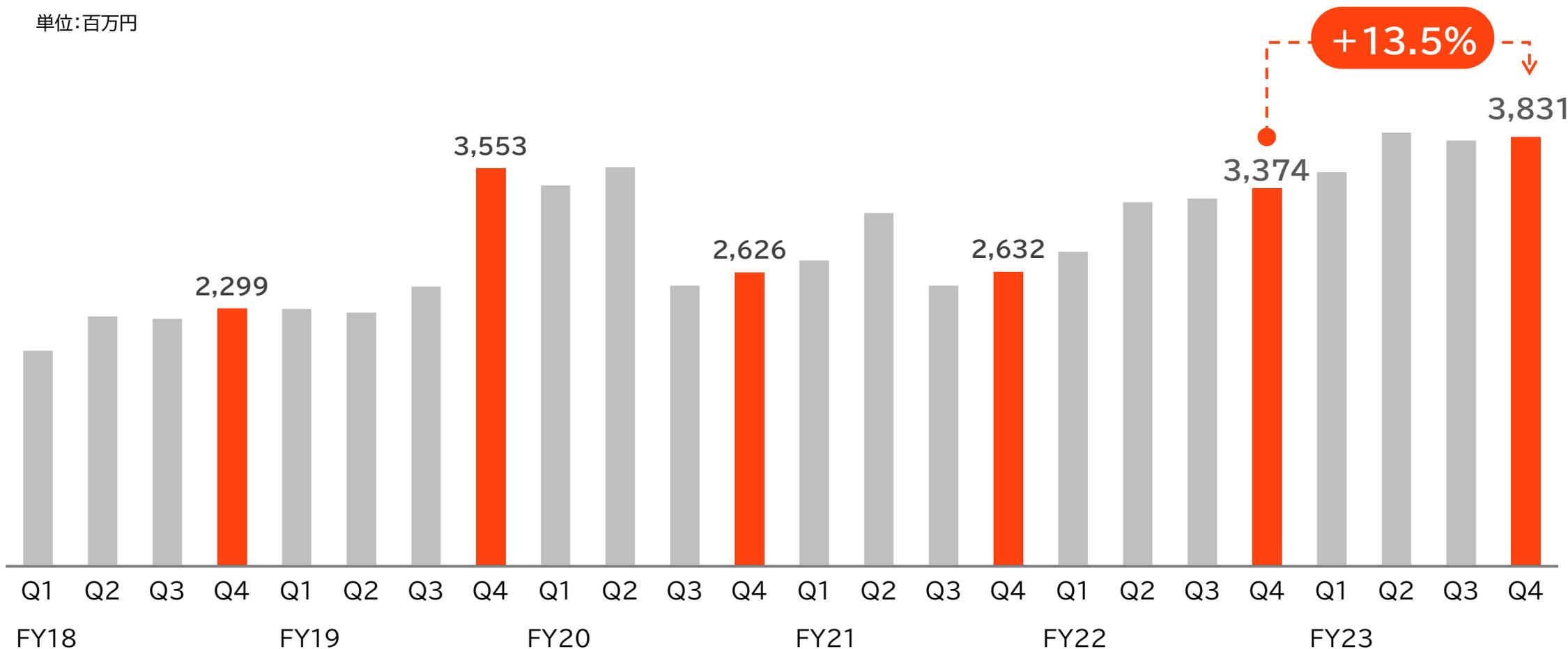
単位 百万円	FY23_4Q 実績	前年同期比	
		増減額	%
売上高	3,831	+456	+13.5%
売上総利益	1,670	+111	+7.2%
営業利益	56	+9	+21.7%
営業利益率	1.5%	-	-
経常利益	52	+3	+6.1%
経常利益率	1.4%	-	-

第4四半期営業利益と成長追加投資

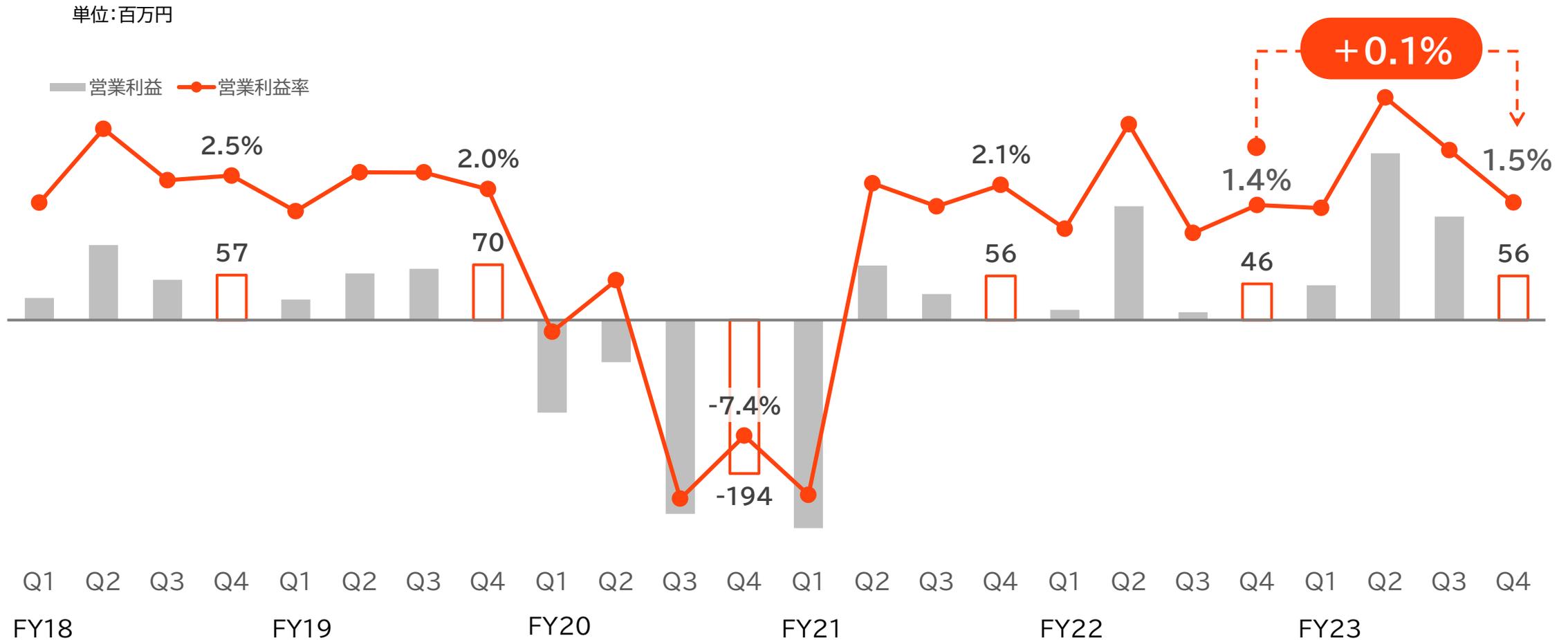


第4四半期で最高売上をマーク・引き続き二桁成長を継続。

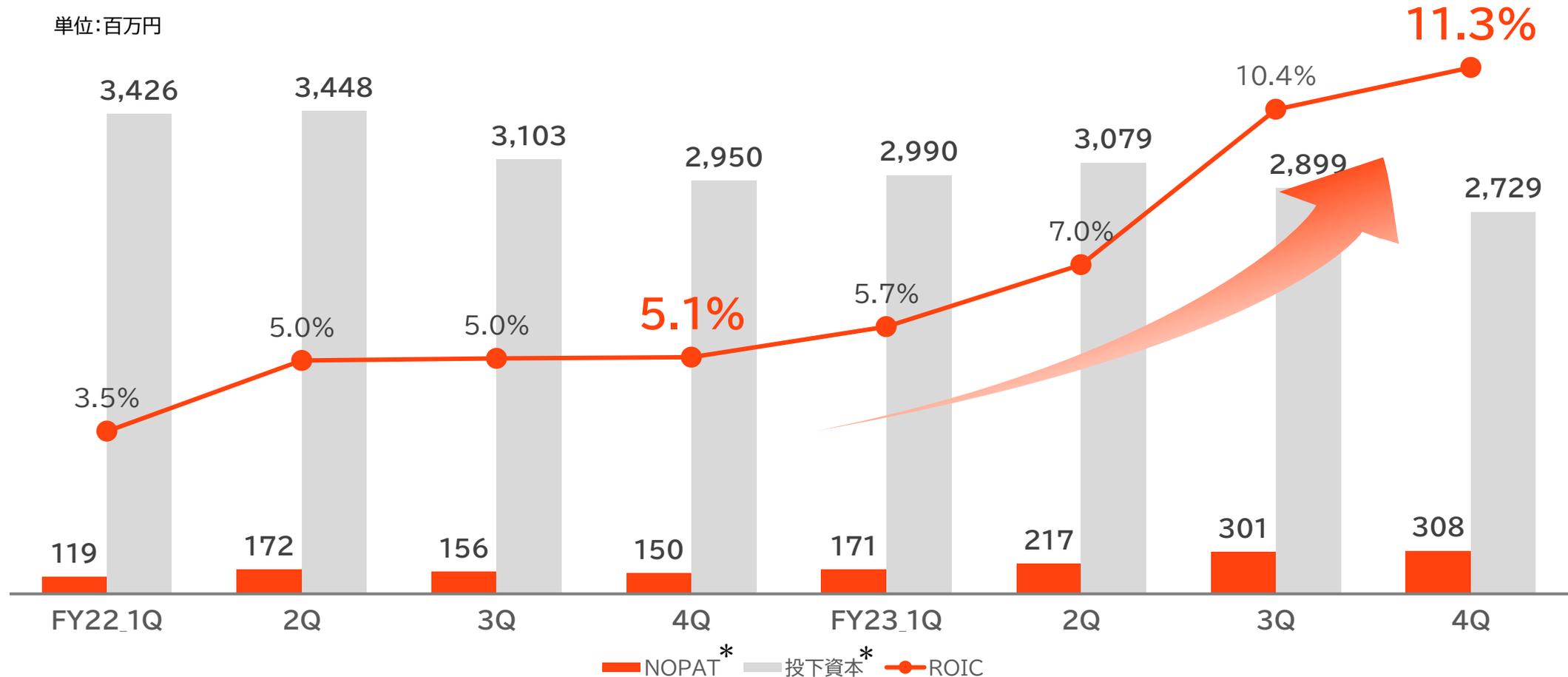
単位:百万円



成長追加投資を実施しながらも、前年実績を上回る。収益性は安定した構造へ。



投下資本をコンパクトに抑えながらも利益を倍増し、稼ぎ出す力が大きく向上。



短期および長期借入金を返済し、自己資本比率33%以上の安全水準まで改善。

4,518百万円

流動資産 2,875	流動負債 2,209
現金及び預金 813	買掛金 454
売掛金 1,473	未払金 657
その他 588	短期借入金 150
	その他 947
	固定負債 712
固定資産 1,642	純資産 1,596
有形固定資産 191	株主資本 1,493
無形固定資産 1,168	その他 102
その他 283	

自己資本比率
33.1%

01

事業概要

02

2023年9月期 通期業績

03

2024年9月期 業績予想

04

APPENDIX

できることは、まだある。



2024年9月期 連結業績予想

日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



単位 百万円	2023年9月期 実績	2024年9月期 業績予想	前年比	
			増減額	%
売上高	15,027	16,550	+1,523	+10.1%
売上総利益	6,651	7,512	+861	+12.9%
営業利益	443	662	+219	+49.4%
営業利益率	3.0%	4.0%	+1.0%	—
経常利益	448	662	+214	+47.8%
経常利益率	3.0%	4.0%	+1.0%	—

3期連続

過去最高売上高・営業利益
を予想。

2023年後半から～2025年 雇用におけるパラダイムシフトが起こる。

外部環境変化

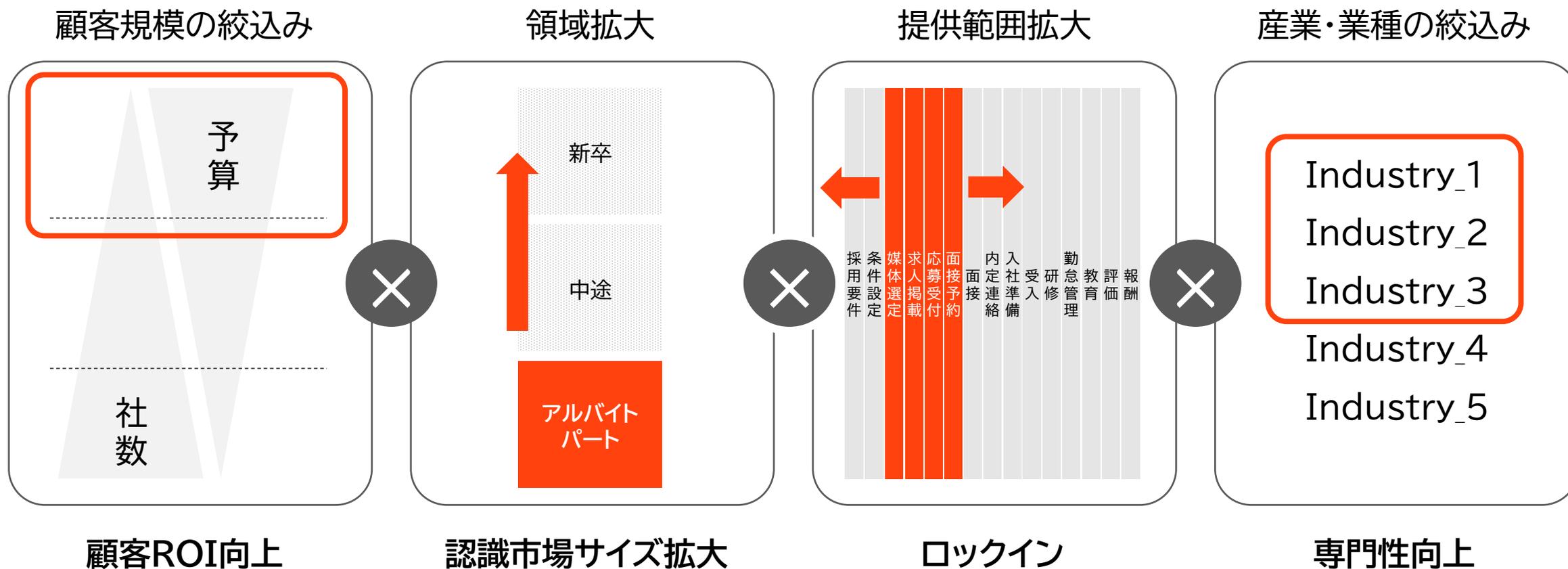
- 最低賃金全国平均時給1,000円突破へ
- 年間時間外労働の上限の制限へ
- 続く原材料高騰と円安
- 加速する人口と労働人口減少
- 人的資本の情報開示が義務化
- 増え続ける日本への海外旅行者
- 2025年大阪万博の開催
- 海外と比較して伸びない日本の賃金水準
- AIの一般化とさらなるDX推進・浸透

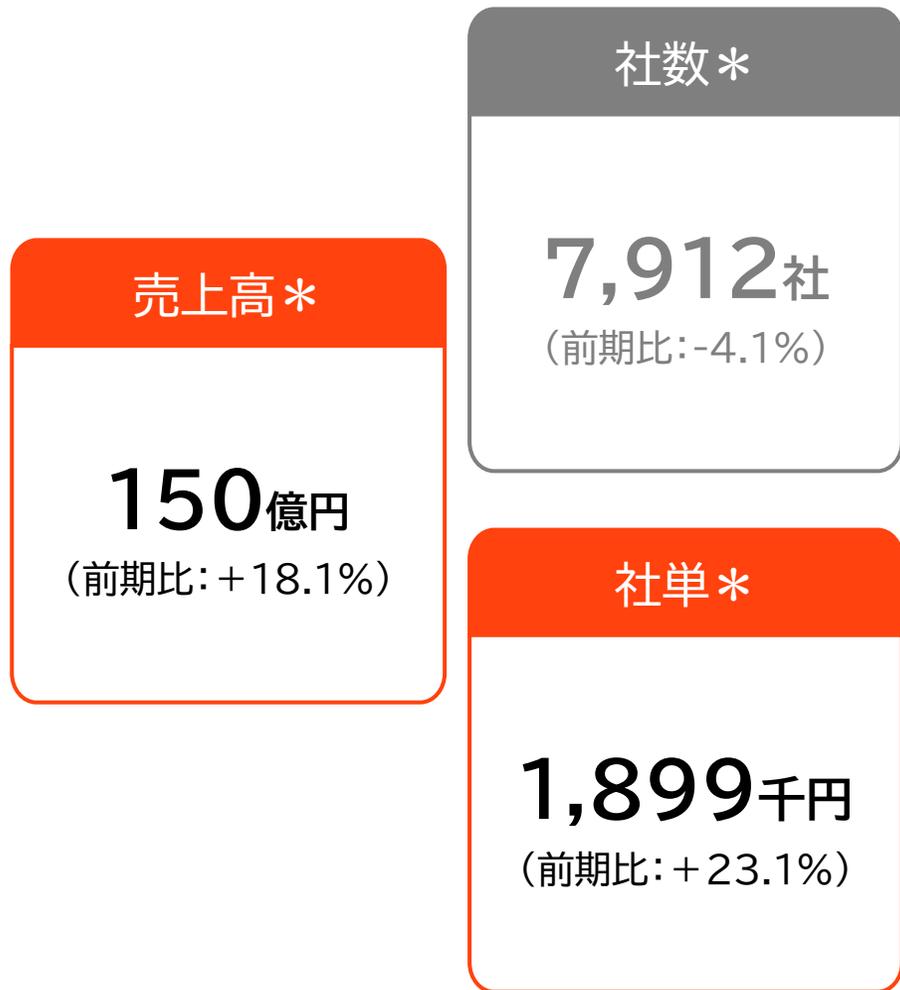
目の前に迫る

GAME CHANGE

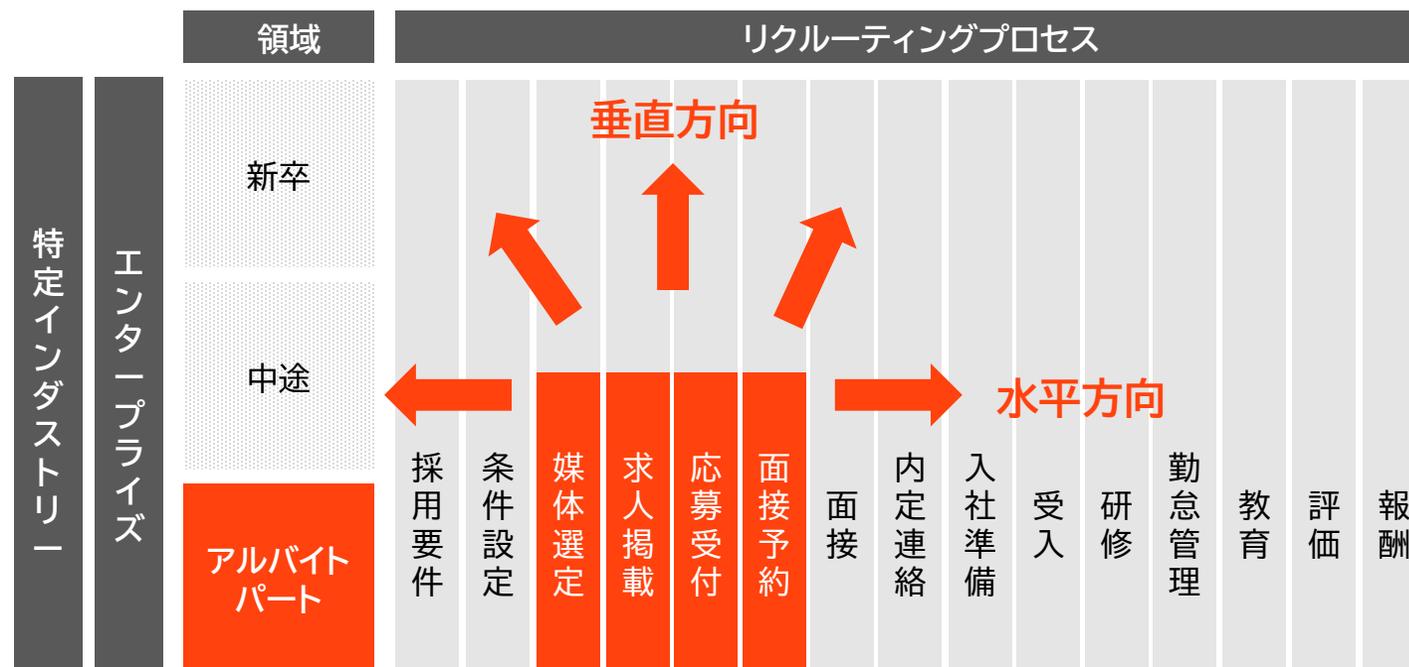
限られたリソースを集中することで、成長速度を加速させる。

成長戦略の骨子





外部環境変化に合わせて課題は深刻化・複雑化しており、従来領域での垂直的な提案とリクルーティングプロセス上で水平的な提案が求められており、社単拡大の余地は明確に存在している。



※色付きは現在主に提供している領域とソリューション

*2023年9月期の実績

成長戦略を支える重点施策

重点施策 ①

営業基盤整備



施策内容: SFA導入・顧客データ統合・ナレッジマネジメント
バラツキがしやすい営業・コンサルティングを高質化と標準化の両面からシステム・仕組み化を進める基盤・環境整備

重点施策 ②

人材育成・採用



施策内容: 専門性を高める育成・タレントマネジメント・採用
一律的な教育ではなく、役割・スキルに合わせた教育を実施。
必要ポジションについては外部からの登用を実施。

重点施策 ③

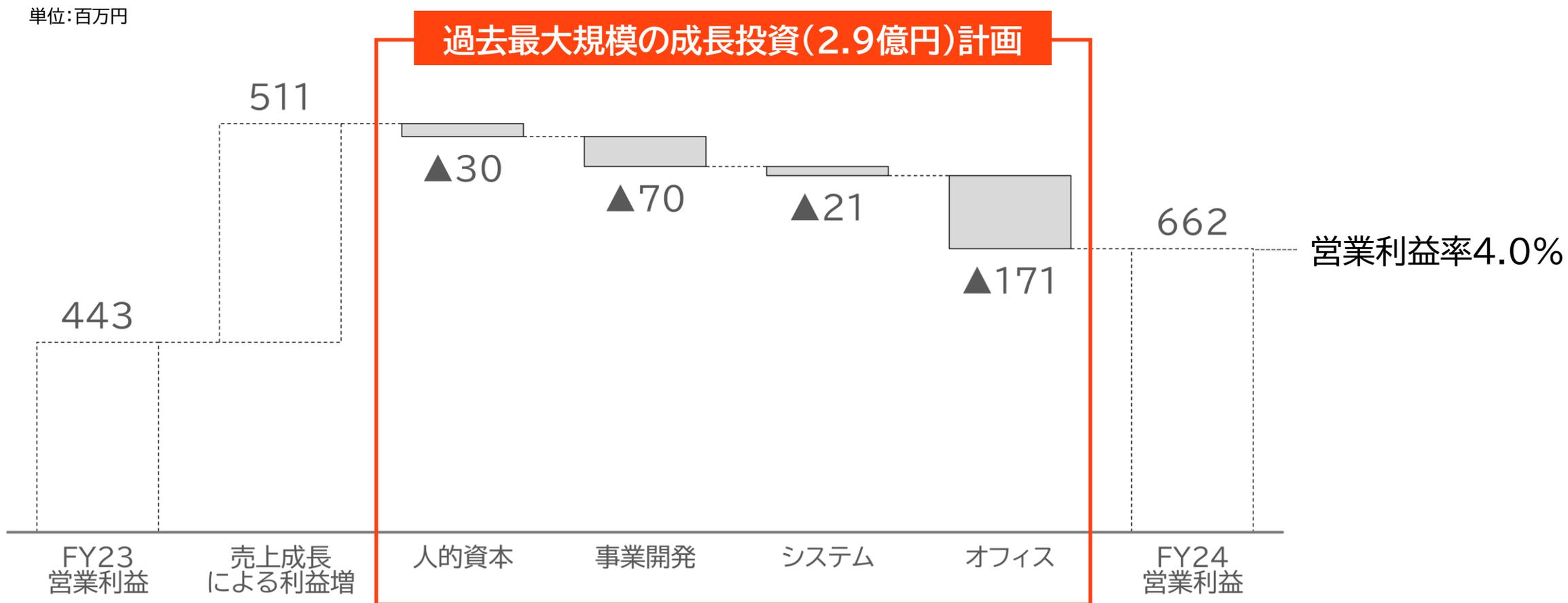
事業開発



施策内容: 新規事業開発・事業育成・CVC・M&A

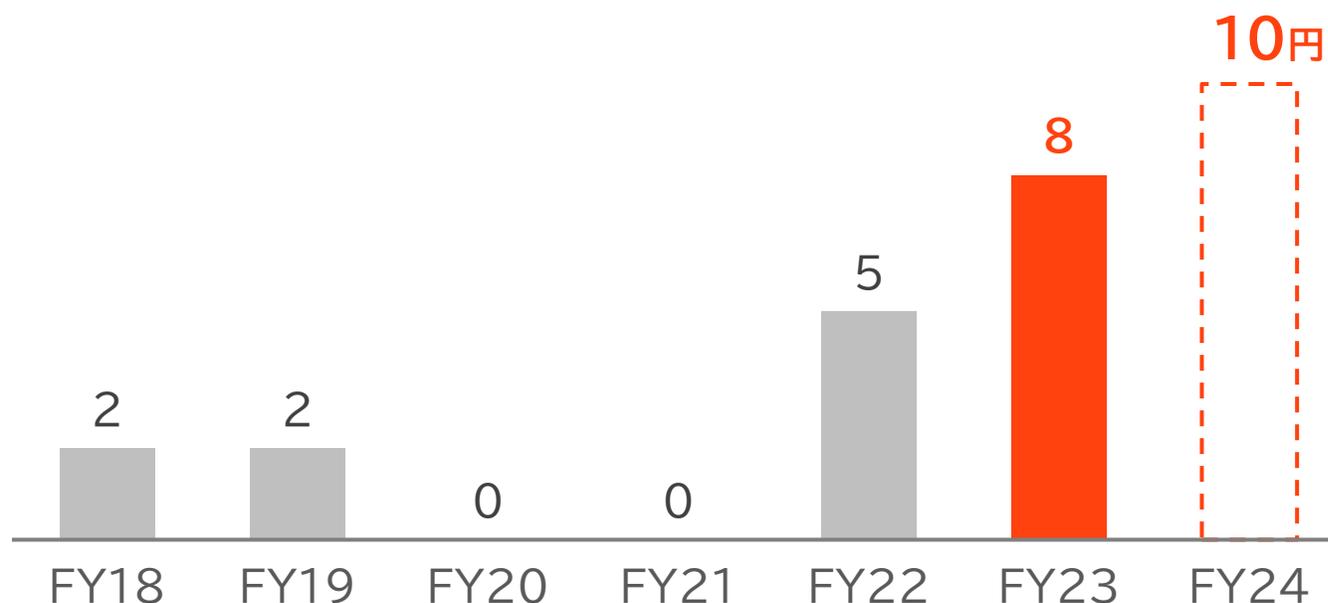
新規事業開発だけではなく、既存事業のバリューアップ強化
や出資・買収も積極的に手段として検討。

通常予算に加えて、以下4項目で投資を実施し成長を加速させる。



当社は社会課題解決とともに持続的な事業成長を実現し、成長投資と株主還元のバランスを考慮し、配当を増やしていくことを目指します。

一株あたりの配当金



2023年9月期は
一株あたり **8** 円(過去最高)

2024年9月期は
+ 2 円の **増配** を予定

01

事業概要

02

2023年9月期 通期業績

03

2024年9月期 業績予想

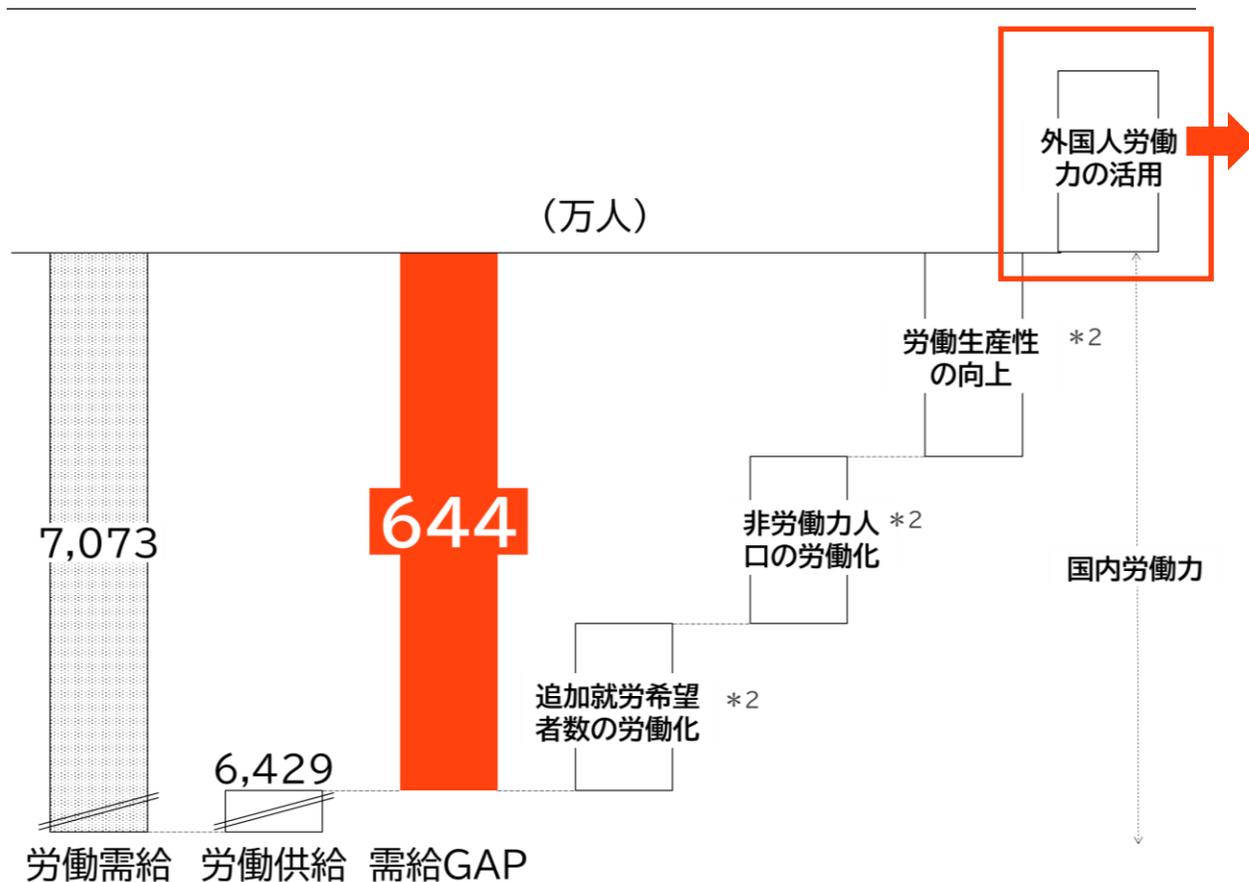
04

APPENDIX

できることは、まだある。



2030年の労働需給GAP



*1(出所)パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計2030」
 *2(注釈)GAPを埋める代表的な施策の一例であり、他にも施策は存在する
 *3(出所)厚生労働省データより

- 新サービスのローンチ。

外国人採用・人事の総合支援サービス

「グローバルワークフォース」

日本の労働市場にForceを

Global
work
force

TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.



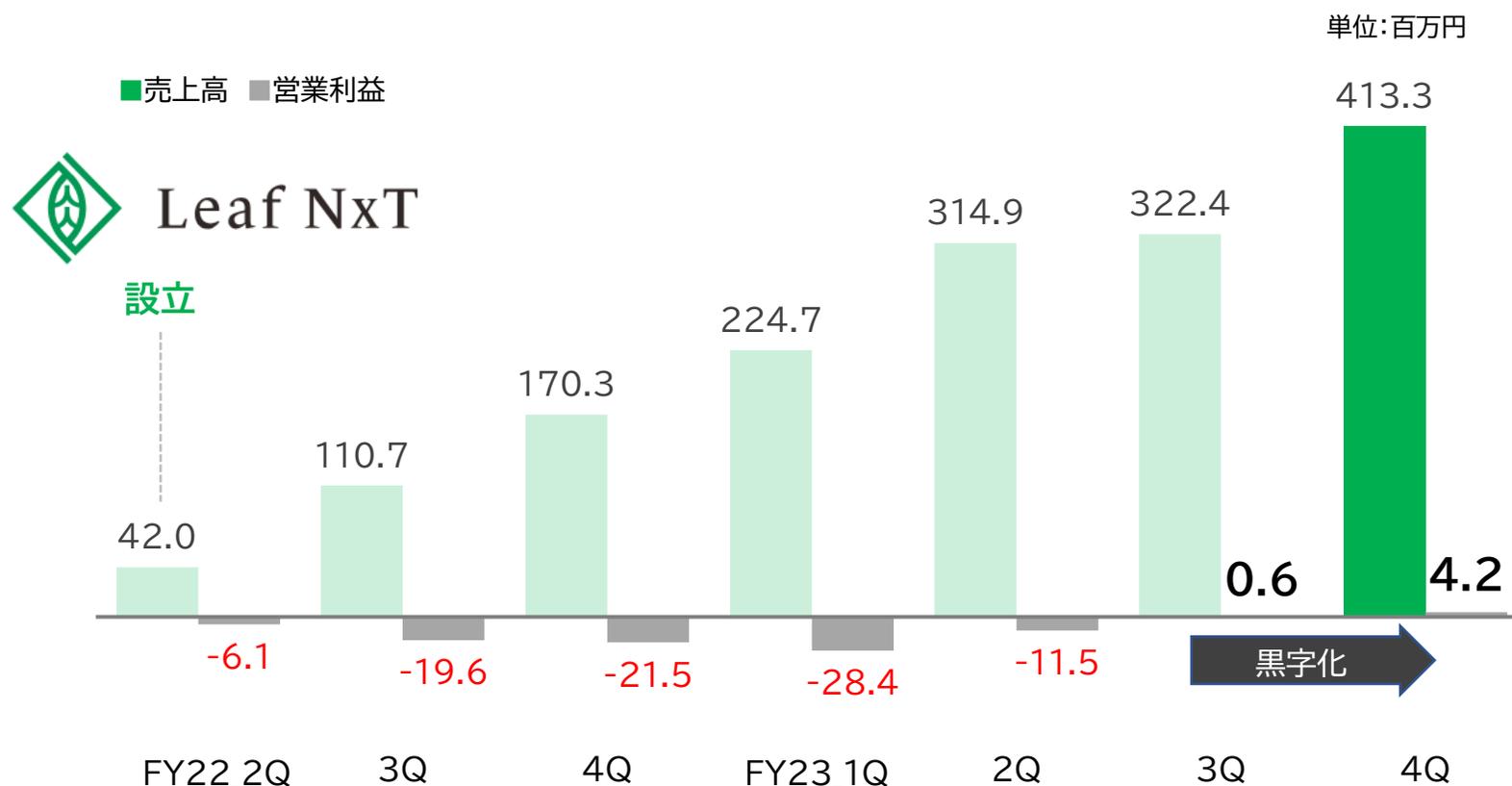
- グローバル関連のベンチャー企業へ出資

helte

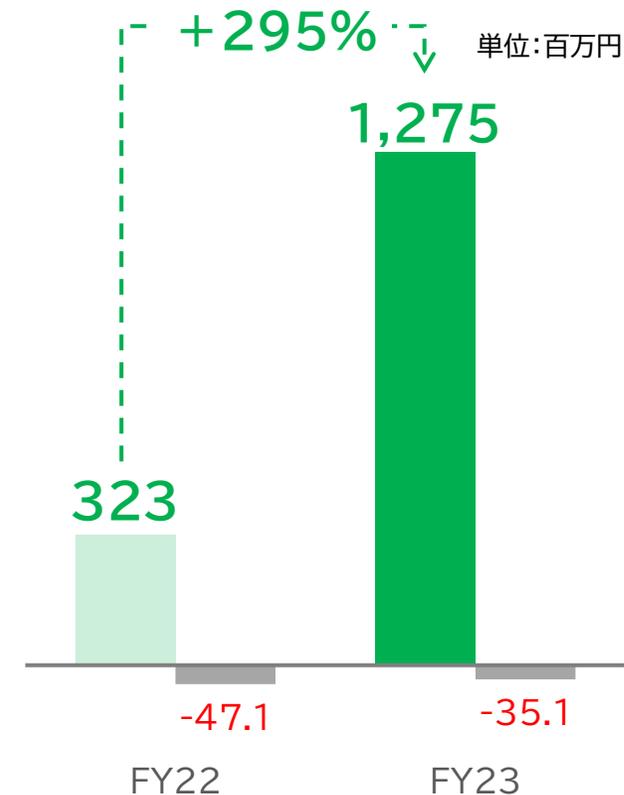
株式会社Helteとの資本業務提携
 協業・シナジーによるグローバル雇用マ
 ケットへ進出

売上高は通期で+295%の伸び、設立2年目の第3四半期からは黒字化を達成。

LeafNxT/派遣事業の四半期 売上高・営業利益推移



通期売上高・営業利益



Logi HR

物流業界における採用プラットフォームへ

株式会社シーアールイー(証券コード【3458】)との合併会社。
 物流企業に向けた専門的なサービスを提供。
 コンサルティングサービス中心に大きく飛躍。
 プラットフォームビジネスを第二の柱に。

		実績	構成比	前年比
売上	千円	59,982		1143%
原価	千円	1,200	2%	-
売上総利益	千円	58,782	98%	1118%
販売管理費	千円	24,893	42%	365%
営業利益	千円	33,889	56%	-

2024年問題対策に、物流企業専門採用プラットフォーム展開

JOBS 日本最大級の物流専門求人情報
高収入の職場・先輩が見える

Logi REC
ロジリク

- 法規制まわらずか **2024年問題**
※2024年4月～施工
- 求人掲載 **¥0 完全無料**
※有料オプションあり
- 物流専門求人 **日本最大級**
※ロジHR株式会社直轄

物流専門の求人情報 & 採用プラットフォーム

Logi RECのウェブサイトとスマートフォンアプリのスクリーンショットが示されています。

ロジHR(株)【公式】アンバサダー
香川 真司 様 長谷川 唯 様

株価推移



本資料に関する注意事項

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、株式会社ツナググループ・ホールディングス(以下「当社」という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

日本の労働需給ギャップに、圧倒的な解決策を。



特別損失について

選択と集中により、買収時に見込んでいた超過収益力を見直したことによる減損。
翌期以降はのれん償却費が減少。

特別損失内訳

単位:百万円

